

癌の硬さ計測の臨床的有用性に関する検討

第一版 2012年8月24日

第二版 2019年10月24日

第三版 2020年6月25日

第四版 2020年9月29日

第五版 2022年8月3日

1. 研究の対象

2012年8月から2025年8月までに、当院で大腸がん・膵がんの診断で手術を受けられた方々

2. 研究目的・方法 研究の目的

本研究は、硬さのデータをもとに硬い大腸がん・膵がん・胆道がんの特徴や手術後の経過や予後などとの関連性を明らかにすることを目的とします。

研究方法、研究実施期間:

2012年8月24日から2025年8月23日に当院で手術を施行された大腸がん・膵がん・胆道がんを対象とし、手術で摘出された検体を用いて、通常の病理診断や研究で用いられている免疫染色、網羅解析などの手法を用いて分子発現解析を行います。コラーゲンの線維化の解析は共同研究者の香川大学 医学部 病理病態・生体防御医学講座で行います。遺伝子解析は共同研究者の東京大学 大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻で行います。

研究実施期間:13年

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、診療録、残余病理検体、バイオバンク試料、腫瘍の硬さ。

4. 外部への試料・情報の公表

既存の資料・データの伝達は特定の研究者のみがアクセスできる方法で管理し、行います。患者さんの対応表は当センターの研究代表者が管理します。研究結果は、個人が特定できない情報として、しかるべき学会発表および論文発表の形で公表します。研究データは匿名化した上で共同研究者の東京大学、香川大学、徳島大学、University of Cyprus でデータ解析を行います。本研究で得られたデータは、公衆衛生の向上に貢献する他の研究を行う上でも重要なデータとなるため、データを公的データベース(あるいは:科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)が運用するデータベース)に登録し、国内外の多くの研究者と共有します。

5. 研究組織

国立がん研究センター東病院 小嶋 基寛

東京大学 鈴木 穰

University of Cyprus Triantafyllos Stylianopoulos

香川大学 松田 陽子

徳島大学 常山 幸一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究代表者：

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 小嶋基寛

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL: 04-7133-1111、FAX: 04-7134-6865 E-mail:

研究責任者：

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 小嶋基寛